

福岡県住宅供給公社の概要と主な取組

○福岡県住宅供給公社の概要

福岡県住宅供給公社は、昭和40年に施行された地方住宅供給公社法にもとづき、前身の財団法人福岡県住宅協会を組織変更して設立されました。

公社賃貸住宅事業、県営住宅管理事業を主要な柱に、福岡県の住宅施策を補完する公的団体として、単に住まいを創るだけでなく、環境を考え、自然との調和をはかり、共に幸せに暮らせる街づくりまで視野にいれ、快適な住まいづくりを目指しています。

公社賃貸住宅とは、公社が建設・所有し管理する賃貸住宅で、県内に67団地・約9千戸あります。現に住宅に困っている一定基準以上の収入がある方を入居の対象としており、県営住宅等の公営住宅を補完する役割を担う公的賃貸住宅の一つです。

公社においては、公社賃貸住宅とその関連施設の管理・募集等を行うとともに、入居者の方が安心・安全な生活を営まれるよう計画的に改修等を行っています。また、老朽化した賃貸住宅については建替えを行うことにより、質の高い賃貸住宅を提供し、地域の居住環境の再生を図っています。

○公社の経営方針とその具体的な取組

福岡県の住宅政策への貢献として、以下のような取組を行うことを目指しています。

1 誰もが安心して暮らせる賃貸住宅の提供

①建替え事業の実施や改善・改修による住宅性能水準の向上

②子育て世帯や高齢者等に向けた安全・安心な賃貸住宅の提供

・建替えに際し社会福祉施設等を併設し、子育て世帯・高齢者に配慮した住宅を供給

2 良好な団地居住環境の整備と地域コミュニティ活性化

建替事業や計画修繕の実施、住棟の集約化を通じて良好な団地居住環境を整備すると共に、近隣住民が集える場所の提供により、地域コミュニティの活性化を支援

①建替え等による地域貢献施設の誘致、建替え余剰地等の有効活用

・地域住民の生活支援・利便に資する福祉施設・店舗等の地域貢献施設の併設などにより、良好な居住環境や地域コミュニティの形成に取り組んでいる。

② 既存団地における団地居住環境の改善

③ 地域コミュニティ活性化の支援

3 多様な居住ニーズに対応する居住環境の提供

働き方やライフスタイルの変化など、住まいに対するニーズに対応した賃貸住宅を提供

※詳細につきましては当社 HP 又は「経営計画2025」をご覧ください

福岡県住宅供給公社 HP 事業の概要と主な取組

<https://www.lsf.jp/about/attempt.php>

福岡県住宅供給公社 経営計画2025(令和7年度～令和16年度)

URL:https://www.lsf.jp/files/about/finance/plan_R7.pdf